

誠心誠意なものづくり。

水澤工務店の茶室

連載 ⑦

「雨聴天」

千利休「待庵」の本歌取りで二畳敷きの茶室「雨聴天」。名前の由来は、かつてみかん畑だった敷地に取り残されていたみかん小屋の錆びたトタン屋根を利用し「トタン屋根を打つ雨音を聴く」という意味が込められている。また、石造鳥居も置かれ、春分・秋分に太陽の光がこの鳥居を通して、茶室へ降り注ぐ趣向も楽しむことができる。



茶室



露地



雨聴天

どのくらいのスキルをもった職人を抱えているか試してみたいと思い、水澤工務店へ依頼しました。古来の工法や技術をもつレベルの高い職人の集まりであると同時に、こちらの要求である最新テクノロジー工法をも積極的に取り組み、取り入れ、満足いく形で掲示してくれました。



雨聴天庵主 杉本博司

構想:杉本博司 基本設計・デザイン監修:(株)新素材研究所

お茶室の設計から施工まで、お気軽にご相談下さい。



株式
会社

水澤工務店

【本社】 〒135-0042 東京都江東区木場5丁目6番1号 TEL.03-3641-7111/FAX.03-3642-8646

<http://www.mizusawa-inc.co.jp>